

みずほCustomer Desk Report 2022/04/14 号 (As of 2022/04/13)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	125.63
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	125.43	1.0826	135.76	1.2999	0.7453
SYD-NY High	126.32	1.0893	136.81	1.3117	0.7475
SYD-NY Low	125.35	1.0809	135.72	1.2973	0.7392
NY 5:00 PM	125.66	1.0893	136.78	1.3117	0.7453

NY DOW	34,564.59	344.23	日本2年債	-0.0700	1.00bp
NASDAQ	13,643.59	272.01	日本10年債	0.2400	0.00bp
S&P	4,446.59	49.14	米国2年債	2.3635	▲4.09bp
日経平均	26,843.49	508.51	米国5年債	2.6597	▲3.56bp
TOPIX	1,890.06	26.43	米国10年債	2.7016	▲2.45bp
シカゴ日経先物	26,980.00	645.00	独10年債	0.7735	▲1.40bp
ロンドンFT	7,580.80	4.14	英10年債	1.8025	0.10bp
DAX	14,076.44	▲48.51	豪10年債	3.0420	▲2.50bp
ハンセン指数	21,374.37	55.24	USDJPY 1M Vol	9.75	0.20%
上海総合	3,186.82	▲26.51	USDJPY 3M Vol	9.38	0.23%
NY金	1,984.70	8.60	USDJPY 6M Vol	9.23	0.20%
WTI	104.25	3.65	USDJPY 1M 25RR	0.05	Yen Put Over
CRB指数	308.197	5.33	EURJPY 3M Vol	10.00	0.07%
ドルインデックス	99.88	▲0.42	EURJPY 6M Vol	9.91	0.07%

東京	東京時間のドル円は125.43レベルでオープン。オープン直後に125.35をつけたが、その後はじりじりと値を上げる展開。しばらくは125円台半ば付近で小確りした値動きが続いていたが、クロス直前の黒田日銀総裁の「現在の強力な金融緩和を粘り強く続ける」という発言をトリガーに急速に円売りが強まり、ドル円も一時126.22まで上昇。結局126.15レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は126.15レベルでオープン。前半はアジア時間の流れを引き継ぎ、黒田日銀総裁の発言を背景に円売りドル買い優勢。さらに米長期金利も堅調に推移し、126.32まで値を上げた。その後は調整売りに若干値を下げ、125.83レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は125.83レベルでNYオープン。朝方は米3月PPIが発表され、前年比ベースで市場予想を上回るも、既に米インフレ加速への懸念が市場に織り込まれているためか、ドル円も反応は限定的。その後、米金利低下を眺めながらドルが売られ、125.37まで下落するも、前日のクロス(125.40)付近で下げ渋る。午後欧州通貨や資源国通貨に対するドル売りが継続するが、クロス円の堅調推移を受けて円売り優勢となり、ドル円はじりじりと上昇。125.71まで戻し、結局、125.66レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、手掛かり材料が乏しい中、1.08台前半でのレンジトレードとなり、1.0832レベルでNYオープン。朝方に1.0809まで下落し、2020年5月以来の1.0800割れに迫るも、米金利低下を横目にドルが売られ、1.0874まで反発。午後高値圏を維持。明日にECB理事会を控え、ユーロのショートカバーが進む中、1.0893までじりじりと上昇し、結局、そのまま高値の1.0893レベルでクロス。本日はBoC(カナダ中銀)が50bpsの利上げや今後金融引き締めを強化する姿勢を示しており、市場の事前予想通りの内容だったものが、カナダドルの買いが進みドル売りが出やすい地合いとなった。

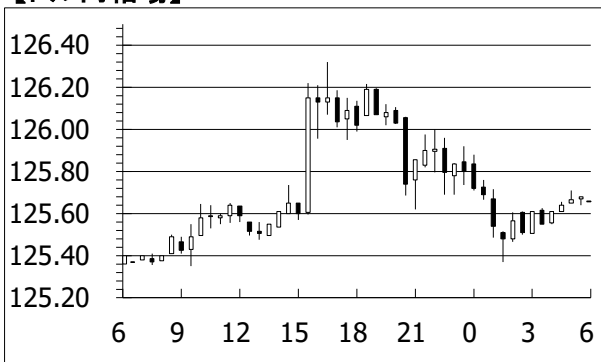
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月13日	13:42	中 貿易収支	3月 47380B	21700B
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	3月 1.1%/7%	0.8%/6.7%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	3月 0.057	0.053
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	3月 1.4%/11.2%	1.1%/10.6%

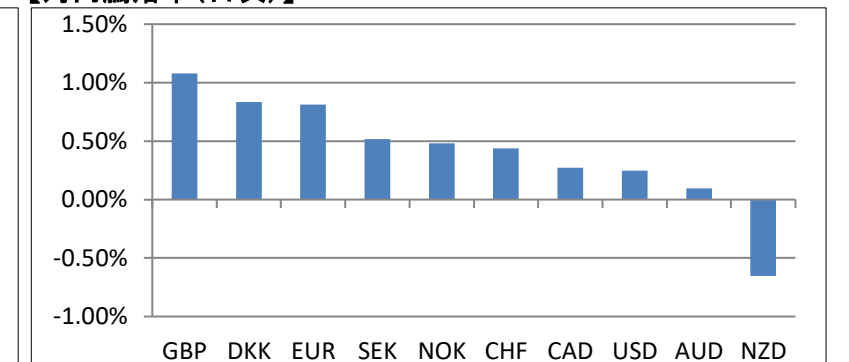
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月14日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 30000/3.9%	77400/4.0%
	20:45	欧 ECB主要政策金利	14-Apr 0.0%	0.0%
	20:45	欧 ECB預金ファシリティ・レート	14-Apr -0.5%	-0.5%
	21:30	欧 ラガルドECB総裁発言		
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月 0.60%	0.30%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9-Apr 170K	166K
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	4月 59.0	59.4
4月15日	04:50	米 マスター・クリーブランド連銀総裁講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	125.00-126.10	1.0800-1.1050	136.20-137.80

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は125.43レベルでオープン。日中は小確りとした推移となったが、東京終盤に黒田日銀総裁が「現在の強力な金融緩和を粘り強く続ける」と発言するとストップを巻き込みながら126.22まで急伸。海外時間序盤までに126.32まで値を上げた。買い一巡後、米金利低下の動きもあり上昇分を吐き出す動きを見せたが、前日終値付近で下げ渋るとクロス円の堅調推移を受けて円売りが優勢となり125.66レベルでクローズした。

本日のドル円も堅調な推移を予想する。昨日はレジスタンスとされていた2015年6月高値(125.86)を一時上抜けたものの、終値ベースでは上抜けとはならず。引き続き同水準がドル円の騰勢を図るトリガーとなるのでは。日銀が金融緩和策継続を示している中で、本日発表の米3月小売売上高の結果には注意したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・松木